

さとやま

No.48 (2007年2月号)

NPO法人 うしく里山の会

事務局 〒300-1236 牛久市田宮町808-20
TEL 029-801-2500 (代表 坂弘毅)
E-mail u_satoyama@infoseek.jp
HP <http://u-satoyama.web.infoseek.co.jp/>

NPO法人として活動を
を始め2年が経過し、各プ
ロジェクトから多くの成
果が発表され、市町村や団
体から寄せられる期待も
日ごとに高まって来てい
ます。里山の会はこれまで

今年には圏央道が阿見東
ICまで開通するなど牛
久にとって大きな変化の
年になると思います。また、
里山の会は次なる躍進に
むけ、パンフレットをリニ
ューアルする事となりました。

里山の会のパンフレットが新しくなります

どれも生き生きとした、里山の会の雰囲気や伝わる
とても楽しそうなものばかり。表紙にも牛久の素晴
らしい里山風景を使用しています。もう少しで皆様
の手にも届くと思いますので、今暫く期待に胸を躍
らせながらお待ちください。

若林 和浩



外部への情報発信手段として広報誌とホームページ
によるものでしたが、この度、満を持してパンフレ
ットを印刷することとなりました。
新しいパンフレットが更に里山の会の活動
を牛久市内外、また、日本全国の里山文化に興味の
ある人々や、荒廃が進む里山の維持に憂いをもたれ
ている方々のヒントになればと思っています。
パンフレットに掲載した各プロジェクトの写真是、

里山の風物

今年の冬はエルニーニョ現象による暖冬と言われていますが、地球温暖化の影響も見逃せない大きな要因と考えられます。現在のまま気温の上昇が続くと、百年後には冬が無くなり、秋から春という事態になることが予測されています。日本人は古くから四季のあることに誇りを持ち、季節毎のうつろいを「季節」という定めを作り、詩にして楽しむという風流な国民でした。その四季が無くなって三季では日本人の心にどのような影響を及ぼすのでしょうか。間もなく立春です。そして「今年の冬



は記録ずくめでした」と締めくくられるのかも知れません。
今月の風物は結末にも伝わって来た「ならせ餅」です。ならせ餅とは、小正月の行事で、五穀豊穡を祈念して餅をつき、紅白餅にして繭玉や動物の形に似せ、コナラの枝やツバキの枝に餅を「成らせた」という古くからのしきたりです。同時に蒸籠(せいろ)の使い始め(その年の)という意味も込められています。(ks)

応援隊活動報告 飯田

十二月十日

先月に引き続きハイコープ(生協)との協働事業、今月は伐採した竹で正月用の花器づくり。はじめに林床の片づけからスタート、つぎに各々の目的とする竹を選び切り出し始める。太い孟宗竹は重く切り出す時は危険で心配になる。すでに構想があり、いろいろの道具を持参した人もあり、もくもくと作業を進めている。

今回は、生協の方に昼食づくりをお願いした。即席でカブの浅漬けを作っていた。料理がおいしいのか、野外で食べるからおいしいのか、すべてを合わせておいしい昼食であった。普段にはないミカンとバナナのデザートがありお腹も十分の満足であった。

花器とは思えないものをつくっている、尋ねたら自家製ミソをかき混ぜるヘラを作っているとのこと。2時過ぎに全員の作品を紹介し合いながら終了となった。初めにサンブルとして私が作った花器をお見せしたのが恥



ずかしいほどであった。
十二月二十三日

炭を出し、木炭用材の積み込みの予定であったが、窯を開けてみると炭には不十分であり、前回の窯を閉じる判断をあやまった。日曜日の午後4時ごろ森も終了時間が過ぎ、そろそろ家路に着きたくなる。陽も落ちる冬の午後、思わず窯を閉じてしまった言い訳。煙の変化も確認したつもりであったが、炭焼きは難しい。再度の火入れを行う。

十二月二十四日

昨日の続きで窯の火をたやさず燃やし続ける。予定にはないが、コジユケイの森の手入れ。夏以来コジユケイの森には先月一度入っただけであり、下草が膝上くらいまで繁っている。昨年も新年を迎えるにあたり森の顔であるこの場所を手入れをしたが今年もきれいにしておきたいと考えた。参加者が少なかったが、けもの道の両側きれいに刈り取った。午後4時過ぎ、今度は成功してくれと願って炭窯を閉じ、今年最後の作業は終了した。

畑活動報告 小野寺

大豆は大変です

隣町である伊奈町のイベントで数年前、大豆のオーナーに応募したことがあります。応募の理由は、自家菜園で枝豆の先まで生育が難しかったこと、第二に自家製味噌作りをしたかったことがあります。オーナーの見聞は十分ではなかったのですが、昨年、森の中の畑二ヶ所で栽培に着手しました。炭屋隣の畑では、まき時を二回に分け、一方を無農薬とし、マルチは共に使用。観察舎前の畑では、マルチ・

ネット共不使用。肥料は有機肥料をそれぞれ二回程度。以上の生育過程は、ネット不使用分は、発芽時の鳥害で三週間遅れ、収穫も三十%程度。炭屋隣は、ネットの成果で、枝豆までは順調に推移したのですが、「好事魔多し」九月の多雨のためか、十月、採取期には大豆の実は莢の中で病害を受け収穫。(葉使用分も同様)。実りの秋に程遠く、味噌づくりも輸入大豆にならざるを得ないのか?と代々市内にお住まいの方に、栽培の仕方を尋ねてみたのですが、味噌の自家製はともあれ、大豆の自家製をなさっている方にはお会いできませんでした。大豆は、どこでも容易に作れる、決して特別な作物ではなかったはずですが・・・さて今年、どうしましょう。大豆の種類、土壌、薬の要否、回数、時期・・・課題は山積んでいます。



そばプロジェクト活動報告 横山

そば打ちに参加した3組の親子から感想をもらいました

全体として

親子共々、初めてのそば打ちを体験し、人一倍いただき(満腹です！)とてもよい思い出ができました。楽しかったです。始まりがどのようになっているのかわからなかったのですが、途中からよかったです。子供はそば打ちより、お兄さんやお友達と遊んで楽しんでいました。何回か参加するうちに、子供もそば打ちに参加できるようになるのではと思いましたので、また参加したい

子供の様子は

同じグループの方々に声をかけていただきながら、粉を混ぜたり、練ったり、打ったり、ゆでたり積極的に行動できたようです。手を使って、粘土のようなので、やりやすかったです。喜んでいました。家でまたできるので、よかったです。(1回打てる分のそば粉を参加者に差し上げました。)

食べてみて

食べるのに夢中で、子供の感想が聞けなかったよ。うな。茶そば、そばがき、それぞれのおそば、すべておいしくいただきました。

黒みつも喜びました。(一般参加の方が作ってきてくれた黒みつを、そばがきにかけて食べました。待ちきれなくなり、先に食べさせてもらいました。みなさんに声をかけていただき、刺激を受けたようです。ルールを学ぶ良い場だと思います。

家族・親どうしとして

これから、色々なことに挑戦し、親子で成長していきたい。今回、3組の親子だけでしたが、子供の年齢が違分、色々な話ができました。来てよかったです。思い出になります。向しくらいの子達で未就園児で話ができました。年上の方達と子のふれあいがあって、子供達にもよいです。

これから

これから親子で体験できる企画をもっと作っていただきたいです。定期的に子供も参加できる簡単な料理や工作のようなものがあれば、また参加します。(家に帰ってまたできる内容のものができればいいと思います。)



さとやまがっきゅう案内 小倉

二〇〇〇年三月、牛久自然観察の森の「牛久自然観察森友の会をつくる」の声掛けをきっかけに結成、当初は三グループに分かれての活動でしたが、今では当初からの流れを引き継ぐ唯一のグループになっており、スタッフは現在五名。平均年齢が三十代と若い(?)です。

私たちのさとやまがっきゅうの活動のねらいは、「体験重視型プログラムを実践し、自然の素晴らしさを直に感じてもらい、少しでも多くの人に自然の大切さに気づいてもらえるような活動を展開すること」です。

今年度も、さとやまがっきゅうは、春季二回・夏季一回・秋季二回・冬季一回を目安に、年六回程度、牛久市遠山地区を主なフィールドとして、四季に合わせたプログラムを用意して活動を展開する予定です。

その他、冬季には、雑木林内の篠竹狩りを行い、参加者が活動しやすくするためにフィールド管理も毎年行ってきました。

【これまでの主な活動内容】

- 春季・・・野草摘み・山菜狩り、四つ手網での魚採り、魚釣りなど
- 夏季・・・昆虫採集、ホタル鑑賞など
- 秋季・・・栗拾い、アケビ狩り、ネイチャークラフト等



冬季・・・昔の遊び、茸狩り、サワガニ観察会等
その他として、さとやまがっきゅうの大きな特

微でもあり、毎回欠かさず実践しているネイチャ
ーゲームも挙げられます。

私たちが利用してきた牛久市遠山地区（別名「牛
久のトトロの森」と呼ばれているとか？）は、低地
と台地が混在した地形で、水田や休耕田、湧水、小
川、雑木林などを数多く見ることのできる自然豊か
なフィールドです。今後も子供たちは、勿論、大人
も童心に戻って楽しめる活動を展開していきたいで
す。

巨木リサーチ活動報告 戸塚

巨木リサーチ事業「市民の木」の撮影と撮影をめぐって感じたこと

写真グループは事業が正式に発足する前に関係者が打合せを行い、平成十八年度の撮影対象である「市民の木」の撮影に当たって次のことを申し合わせました。

- 一・撮影の目的は生態写真（図鑑写真）とする。
- 二・撮影は木の全景（後述の登録画像番号一）、木の特徴を示す部分（同二）、木の肌（同三）、花（四）、果実（五）とする。
- 三・撮影画像のベストショットにファイル名をつけて登録し、一元的に管理する。
- 四・ファイル名は数字の十二桁で示し、一〜二桁：撮影者、三〜八桁：撮影期日、九〜十桁：「市民の木」番号、十一桁：上記撮影部位、十二桁：画像の縦横、とする。

以上の申し合わせにしたがい写真グループは当初六名で発足しましたが、現在は四名で月、一〜二回定

期的に撮影を行っています。ただ市民の木は神社や寺院に多くあるため繁茂した森の中の環境下で、陽光が樹木全体に当たる時間帯が限られています。このため朝光の低い時間でないとい撮影できない木や西日が当たる午後でないとい撮影できない木も多くあることから、各人が都合のつく時間に撮影を行ってききました。また撮影場所が狭く、広角レンズを使用しても樹木の全体を撮影できない場所もあり、皆さん大変苦労しました。

撮影した画像のなかで最良と判断した画像を圧縮して申し合わせのファイル名をつけ、画像管理者へメールに添付して登録してきました。十二月二十五日現在三三七件に達しています。この登録画像一覧とその画像ファイルについて、ヤフーグループのメーリングリストを利用し、巨木事業参加者を対象としてインターネット上で公開しております。皆さん有効に活用しています。

「市民の木」を撮影してみて、神社・寺院・個人所有の巨木が地域住民にご神木などとして、如何に大切にされてきたかが分かりました。また牛久市に住みながら、市内に多くの巨木があるのを知りませんでした。今回の撮影活動を通していろいろのことを知り、とても感動しました。そして今回の巨木リサーチ活動で調査や撮影に関わった各グループの方々と知り合えたことがとても有意義でした。

（写真（一）写真グループの撮影風景、撮影者：渡辺泰、撮影場所：期日：柏田町宮本氏さんスタジオ・E8.2.5。（二）新葉萌芽前の「市民の木」さんエノキ、撮影者：戸塚昌宏、撮影場所：期日：東端六町八幡神社・E8.4.26。）



市民の木撮影風景



市民の木No.2

今月の巨木

簡

『城中町のスダジイ』

毎月「巨木・古木・希少木リサーチ」の対象になった地域の銘木をお伝えします。

(巨木リサーチ・総務)

樹高 15m

幹周 4.0m

樹齢 推定400年

所在地 牛久市城中町二六八九(小川氏所有)

関東地方以西の暖地に自生する常緑の高木です。

樹皮は裂けていて小枝が太いのが特徴で、この付近の雑木林にはたくさん生育しており、シイという名で親しまれています。

この辺りは、かつて牛久藩の陣屋(1619年～1871年)の一部であり、近代日本画壇の巨匠小川芋銭(1868年～1938年)も、四季を通して诗情豊かな沼畔に望むこの地をこよなく愛しました。

「市民の木」案内板より



撮影 白井 英雄

里山観察隊活動案内

高野

里山観察隊二月の活動

日時 二月十日(第二土曜日)九時～十二時

集合 観察の森ネイチャーセンター

内容 植物の分け方の基本を知る。

(植物の分け方の基本を学びます)

報告会 平成18年度の活動を振り返って

(観察した植物などの質問も受けます)

対象者 里山観察隊プロジェクトメンバー

森からのお知らせ

牛久自然観察の森受託事業

平成十九年度指定管理業務の準備状況について

フコーディネーター 齊藤孝

光の春から立春へと、少しずつ新年度が近づいて参りました。今月は次年度の指定管理業務の準備状況について報告いたします。

当会は平成十八年四月一日から平成二十三年三月三十一日までの五年間、牛久自然観察の森の指定管理者として管理業務にあたる協定を牛久市と締結しています(協定は全十章五十七条項)。このうち施設の維持管理業務については「指定管理者の業務内容及び実施基準」(別冊二十五ページ)に基づいて業務を実施していますが、自然観察会等の主催行事については、年度毎に牛久市緑化推進課に事業実施計画書を提出することになっていきます。受託事業は理事会の審議事項になっており、この事業計画書は十二月

及び一月開催の理事会での説明、二月の理事会での了承を経て、三月上旬に牛久市へ提出の見込みです。新年度の行事や取り組みについては、今後この欄でも紹介して参りますが、前述の協定書や実施基準同様、事業計画書もネイチャーセンターで閲覧する事ができますので、担当(齊藤)まで気軽に声をお掛けください。

【ご報告】一月十日、依田武則さん(元観察の森レンジャー)が青年海外協力隊隊員としてチリに出発されました。派遣は環境教育担当の隊員として二年間、チリからの便りを定期的に送って下さるとの事です。

一月の運営会議から

一 巨木資料展のお知らせ

巨木・古木リサーチ事業では、牛久市と共催で平成十八年度活動資料展を開催します。皆さまのご来場をお待ちしています。

・日 時 平成十九年三月三日(土)～四日(日)

午前十時～午後四時

・会場 牛久市中央生涯学習センター大講座室

・内容 平成十八年度の調査活動記録

計測データ・市民の木三十六枚の写真・聞き取り歴史調査資料の展示

二 牛久市住宅地図を購入しました

標記の地図を購入しました。プロジェクトをご利用の際は、事務局までご連絡ください。(個人としての利用はできません。)

三 牛久市社会福祉協議会創立五十周年記念協賛バザー参加の件

里山の会では、ゆめまちネットのブースに参加します。皆様お誘い合わせのうえご来場ください。
 ・日 時 平成十九年二月十二日(月) 午後一時～午後四時
 * 午後十二時三十分より開場

・会場 牛久市中央生涯学習センター 文化ホール・多目的ホール

・内容 牛久市社協沿革、顕彰
 坪内ミキ子氏(女優)・福留強氏(聖徳大学教授)による対談
 親子ピアノコンサート
 (有馬由希子氏)

バザー、市民活動紹介など。

四 会報原稿の写真コメント、原稿執筆者名記入のお願い。

会員の皆さまにはいつもたくさん原稿・写真をいただき、ありがとうございます。広報委員会では、これからもわかりやすく、見やすい会報を作るために努力を重ねて参ります。皆さまの原稿や写真も、執筆者名や撮影者・写真のコメント・写真の題名などを記入していただくと、とてもありがたいです。よろしければ、ご協力をお願いします。



2月の里山カレンダー

活動日は都合により変更になる場合がありますので、ホームページ等でご確認ください。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--|----------------------------------|--|-----------------------|---|--------------------------|---|
| | | | | 1 アヤマ園(受) 8:00アヤマ園P | 2 | 3 |
| 4 巨木古木リサーチ(受) 9:00市役所玄関 | 5 (休園日) アヤマ園(受) 8:00アヤマ園P | 6 | 7 | 8 アヤマ園(受) 8:00アヤマ園P | 9 雑木林畑隊 13:00観察舎畑 | 10 雑木林応援隊 9:00炭小屋 里山観察隊 9:00NC (会報等原稿不切) |
| 11 雑木林応援隊 9:00ムジナ | 12 アヤマ園(受) 8:00アヤマ園P | 13 (休園日) | 14 (休園日) | 15 アヤマ園(受) 8:00アヤマ園P 雑木林畑隊 13:00畑 | 16 ありんこクラブ 13:00NC | 17 巨木古木リサーチ(受) 9:00NC |
| 18 運営委員会9:00NC 理事会11:00NC 広報11:00NC | 19 (休園日) アヤマ園(受) 8:00アヤマ園P | 20 | 21 | 22 アヤマ園(受) 8:00アヤマ園P | 23 雑木林畑隊 13:00観察舎畑 | 24 |
| 25 雑木林応援隊 9:00炭小屋 | 26 (休園日) アヤマ園(受) 8:00アヤマ園P | 27 巨木古木リサーチ(受) 市連絡会 9:30市会議室 会報発送 13:00NC | 28 雑木林畑隊 13:00畑 | | | |

森:観察の森, NC:観察の森ネイチャーセンター, (受):受託事業, P:駐車場, (休園日):観察の森休園日

編集後記

「鬼は外！福は内！」

みなさんの家では、節分の豆まきなどされるのでしょうか？

私が子供の頃(約30年前)は、私の家でもよく豆まきをしましたが、最近では全くやらなくなりました。家を払い清めて、立春を迎えようという意味があるのでしょうか。春先になってくると、なんとなく花粉で鼻がムズムズしてきますが、実は、つくしを食べると花粉症の症状が軽減するそうです。今年は試しに私も食べてみようかな？と思っています。

記 安村

次号(2007年3月号)の印刷発行は2月27日午後1時を予定しています。お手伝いいただける方を随時募集してます！編集担当者にご連絡ください。よろしくお祈りします。

会報さとやま 2007年1月号(発行・NPO法人うしく里山の会)

事務局 300-1212 茨城県牛久市結束町489-1 (牛久自然観察の森内) 電話029-874-6600